

# ふるさと納税便りvol.12

ふるさと応援寄附（ふるさと納税）をいただいた皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様には、ふるさと納税を通して、本市に対してたいへん温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

ふるさと納税便りは、皆様からの貴重な寄附金を、どのように活用させていただいたのか、その内容についてお知らせするものです。

今回は、令和元年度に頂戴した寄附金を活用し、令和2年度に実施した事業内容についてお知らせいたします。

今後も引き続き、佐賀市への応援をよろしく願いいたします。

佐賀市長 坂井英隆



佐野常民記念館が「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」に生まれ変わって、9月25日（土）にオープン



# ご寄附の活用状況報告

令和2年度に頂戴した寄附金**1,088,387,000円**については、事務経費などを差し引いたうえで用途のご指定内容をもとに活用させていただきました。

誠にありがとうございました。

## 1. 子どもの学びの環境を充実するために

活用額：233,498,000円



佐賀市立小中学校の教室に設置している電子黒板の整備費用として使わせていただきました。電子黒板の大きな画面に、デジタル教科書の画像や動画を提示するなど、視聴覚教材を活用することにより、子どもたちの学習への理解を深める手助けとなっています。

また、書画カメラや学習ソフトウェアを活用し、電子黒板に子どもたちの作品やノートを提示して、伝え合う活動や学び合う活動に取り組むことにより、子どもたちが主体的・対話的に学びを広げたり深めたりすることができています。



すべての佐賀市立小中学校で、新刊本、人気の本や調べ学習に役立つ本など、それぞれの学校のニーズにあった本を選んで購入することで、学校図書館の本の充実を図りました。子どもたちは新しい本が棚に並ぶのを楽しみにしており、購入した本は毎日多くの子どもたちが手に取り、利用しています。

また、佐賀市立小中学校ではお互いに本の貸し借りをを行い、各学校で購入した本を全学校で活用しています。



佐賀市立小中学校で児童・生徒が使用する教材等を購入させていただきました。

サッカーゴール、一輪車などの体育道具、トランペット、ドラム、アコーディオンなどの楽器、資料・配布物作成のための大判印刷機や丁合機、特別な支援が必要な児童・生徒のための教材など、学校生活を充実させる様々な備品等を購入することができました。

児童・生徒たちのために、大いに活用させていただいています



### 【市立図書館本館】

市立図書館本館用として、子ども向けの本と子育て関連の本を1,392冊購入しました。子ども向けの本は利用も多く、本に親しむことで豊かな心を育む大切な資料です。今回も多くの寄付を頂いたことで、新刊本を充実させるだけでなく、利用で傷んだ本も思い切って買い直しをすることができました。購入した本は、図書館を訪れる多くの子ども達や子育て中の大人など、毎日、多くの人に利用されています。

「市民と共に育つ」佐賀市立図書館をこれからもよろしくお願い申し上げます。



### 【市立図書館諸富館】

地元で要望の高い本やシリーズ本（532冊）などを購入させていただきました。諸富館は、開設当初から地元諸富町の絵本の読み聞かせボランティアグループ“おはなし連絡会Morodomi”（6グループの統括）とともに、本の読み聞かせによる読書推進活動を行っています。図書館職員や読み聞かせボランティアグループの方々も、真新しい絵本を図書館や保育園等での絵本の読み聞かせに活用させていただきます。



### 【市立図書館大和館】

大和館では児童書 788 点、児童雑誌 53 点、一般書 698 点を購入しました。  
令和 2 年度はコロナの影響により来館者が減りましたが、こういう時こそ未来を担う子供たちの情操教育に資する資料や大人の方の利用を促進する良い機会だと思い、図書の充実に努めています。  
今回頂きましたご寄附は多くの図書資料を購入することができました。児童書コーナーの充実が図られただけでなく、一般の利用者を含め毎日多くの人に利用されています。今後も利用者に愛される大和館を目指していきたいと思っています。



### 【市立図書館富士館】

絵本や児童書を 324 冊、暮らしに役立つ本や小説など一般書を 323 冊購入し、富士館の資料充実を図ることでき、利用者の皆さまに大変喜んでいただいております。  
一般の貸出はもとより、小中学校や子育てサロン等の団体貸出にも活用させていただいております。充実した図書を備え、地域住民の皆様から親しまれ、愛される図書館を目指してまいります



### 【市立図書館三瀬館】

三瀬館は三瀬高原にある小さな図書館です。今回、新刊本から勉強に役立つ本、季節の絵本など児童書を 278 冊、暮らしに役立つ本や小説など一般書を 136 冊購入いたしました。  
学校帰りの小学生から大人の方まで、多くの方が本を手に取り、借りていかれています。今後もたくさんの方に本を読んでいただきたいと考えています。今回ご寄附いただいたことで、図書館資料の充実を図ることができました。御礼申し上げます。



### 【市立図書館川副館】

新刊書を中心に知識・赤ちゃんの絵本 262 冊などを購入し、児童書の充実を図ることができました。自然に関する知識絵本は子どもの興味を引く内容であり、大人にも解りやすく説明がしてあるので、年明けに行った「ふるさと納税の本」展示期間中はとても好評をいただき、多くの方が本を手に取り借りて行かれました。

小学校や児童館、図書館での読み聞かせの際に読んだり、紹介したりして活用したいと思っています。



### 【市立図書館東与賀館】

ふるさと納税制度により、おかげさまで新刊書を中心に大型絵本を含む児童図書 520 点の購入につながり、子どもたちの本を充実させることができました。

昨年から、新型コロナウイルスの影響で臨時休校やステイホームの推奨など、外出を控えなければならない期間が増えており、本を読むことによって、子供たちの知識や明るい笑顔が増えていくことを心から願っております。

## 2. 子どもたちへの支援・応援のために

活用額：113,584,000円



本市では、市民総参加で子どもを育む「子どもへのまなざし運動」を推進しています。市内各地域で取り組まれている「登下校見守り」「学校行事」「地域イベント」等の様々な活動に役立てていただくよう、まなざし手袋、ベスト、帽子やのぼり旗などを製作しました。地域の皆様からは「ベストは目立つ色で分かり易く、子どもたちとのコミュニケーションもとり易い」など、ありがたい言葉をいただいています。

また、経済的理由により就学が困難な市内小中学生2,867人の保護者に、給食費・学用品費等の支援を行いました。

## 3. “バルーンのまち佐賀”推進のために

活用額：12,913,000円



佐賀バルーンチャレンジシリーズの様子

### 晩秋の秋の風物詩「バルーン大会」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020佐賀インターナショナルバルーンフェスタの開催は中止されました。

しかし、佐賀の晩秋の風物詩であり佐賀市民の誇りとなっている佐賀のバルーンの灯を消さず、将来へつなげていかななくてはならないと考えております。

皆様から頂いた寄附金は、バルーンのまち佐賀市をPRするための広報費及び、佐賀バルーンチャレンジシリーズ開催費、並びに次年度大会に向けた会場の基盤整備費の一部として大切に活用させていただきました。

## 4. さが桜マラソン・スポーツ振興のために

活用額：6,912,000円



サンクスデーランニング講習会の様子

さが桜マラソンは、全国から1万人が参加する佐賀の一大スポーツイベントとして定着してまいりました。2021大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、皆様からの寄付金を使用し、代替大会として、スマートフォンなどを使って行う「オンラインマラソン大会」を開催しました。コロナ禍で多くの大会が中止となる中で、全国のランナーの気持ちを次に繋ぐ大会となりました。また、大会に関わるすべての方への感謝を込めて、「さが桜サンクスデー」と題し、来場者参加型のイベントを開催しました。

## 5. 街なかの祭り等を通した賑わいづくりのために

活用額：4,442,000円



### 佐賀に春の訪れを告げる「佐賀城下ひなまつり」

令和2年度「第21回佐賀城下ひなまつり」は開催に向けて準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催直前に残念ながら中止となりました。

小中学生制作ひな人形展示「第7回子どもびなの宴」については、市内の小中学校19校に参加いただき、佐賀城本丸歴史館にて約1,700体の手作りのひな人形を展示しました。2月20日（土）から3月7日（日）までの展示期間中、多くのお客様にご覧いただくことができました。

## 6. 大隈重信記念館事業を推進するために

活用額：19,083,000円



大隈重信記念館では、総理大臣を二度務めた政治家、また、早稲田大学の創設者として有名な佐賀の偉人である大隈重信侯に関連する貴重な資料や映像を展示しています。記念館に併設されている大隈重信旧宅（生家）も公開しており、希望される方は中に入って見学することができます。

また、令和3年1月10日に100回忌を迎えた大隈侯を顕彰するため、記念館図録の作製、市報さがやフリーペーパーへの情報掲載など、様々な取り組みを行いました。

【令和2年度の入館者数：5,524人】

## 7. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために

活用額：15,734,000円



佐賀市では、市民が主体的にみどりあふれるまちづくりを推進する活動を支援しています。公園や公民館など、地域に密着した場所で花植え活動をされている団体が多く、市内が花でいっぱいになるように日々のお世話などを頑張ってください。

皆様から頂いた寄附金は、現在220団体ほど登録されている花づくりボランティア団体に対し、年2回、緑化資材（花苗や肥料等）の現物支給を行う費用として、大切に活用させていただきました。また、花づくりボランティア活動啓発のための、各花壇への看板の設置も行っています。

## 7. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために②



佐賀市では、“みどりと水が調和した佐賀の風景や人の営みを、市民と一体となって、子どもたちの世代へと守り育てよう”という思いを引き継ぎ、市民と手を取り合いながら、みどりあふれるまちづくりを進めています。

皆様から頂いた寄附金は、金立公園への「ヤマザクラ」や「ヤマボウシ」の植樹や、多布施川河畔公園への「ヤマザクラ」の植樹に活用させていただきました。

また、金立公園コスモス園においては、秋はコスモス、春は菜の花を咲かせ、市民に親しまれています。

## 8. ラムサール条約湿地の保全と活用のために

活用額：24,930,000円



皆様からの寄附金を活用し整備を進めた「東よか干潟ビジターセンター“ひがさす”」が2020年10月20日に開館しました。

「ひがさす」では、東よか干潟の魅力や特徴をプロジェクションマッピングや映像で紹介し、展望棟からは広大な干潟や佐賀平野の田園風景を見渡すことができます。また館内の空調には地中熱エネルギーを利用し、環境に配慮した施設として注目され、開館後約一ヶ月で5万人の方に来館いただきました。皆様もぜひお越しください。

【令和3年3月末来館者数88,868人】

## 8. ラムサール条約湿地の保全と活用のために②



東よか干潟は、渡り鳥の生息地としての重要性が認められ、2015年5月、ラムサール条約湿地に登録されました。佐賀市では、世界に認められた東よか干潟の環境保全活動や、その魅力を伝えるため、ボランティアガイドの運営などを行っています。

また、2020年10月にオープンした東よか干潟ビジターセンター“ひがさす”を中心に、ワークショップやイベントを開催し、環境教育や地域の振興にも取り組んでいます。渡り鳥の聖地「東よか干潟」へ、ぜひお越しください。

## 10. 環境に配慮したまちづくりと生活環境の保全のために

活用額：19,149,000円



佐賀市は、緑豊かな山間部、佐賀平野に広がるクリークや田園風景、宝の海である有明海など素晴らしい自然環境に恵まれています。

このような環境を維持し、後世に残していくために各種環境調査を実施しています。今回の寄付により、市内141地点で河川水、地下水等の水質調査を行い、結果を市ホームページ等で公表しています。今後も安全で安心して暮らせる環境を守るため取り組んでまいります。

## 10. 環境に配慮したまちづくりと生活環境の保全のために②



佐賀市は、緑豊かな山間部、佐賀平野に広がるクリークや田園風景、宝の海である有明海など素晴らしい自然環境に恵まれています。このような環境を維持し、後世に残していくために各種環境調査を実施しています。

今回の寄付により、市内9ヶ所で自動車騒音・振動調査、一般環境騒音調査等を行い、結果を市ホームページ等で公表しています。今後も安全で安心して暮らせる環境を守るため取り組んでまいります。

## 10. 環境に配慮したまちづくりと生活環境の保全のために③



佐賀市では、地域で野良猫をお世話したり、見守ったりする地域猫活動を行う方や猫を飼っている方を対象に不妊去勢手術にかかる費用の一部を助成しています。

これにより新たに野良となる猫を無くし、捕獲や処分をすることなく少しずつ野良猫を減らしていくことを目指しています。

この活動で大事なことは続けること。活動を続けることで野良猫の数を大きく減らすことができた事例もあります。今後も温かく見守っていただければと思います。

## 10. 環境に配慮したまちづくりと生活環境の保全のために④



近年佐賀市内において、アライグマが住宅の屋根裏に住み着く、家庭菜園の作物を食べられるといった生活被害が全域的に発生しています。

特定外来生物であるアライグマは繁殖力が強く、何でも食べるという特性を持つため、被害件数は増加傾向にあります。

そうした被害の軽減のため、本市では目撃や被害の情報を元に、市民の方と協力してアライグマの捕獲を行っています。（令和2年度は市街地において90頭捕獲）

市民の皆様が安心して暮らせるよう、今後も対策を続けていきます。

## 12. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために

活用額：16,059,000円



佐賀市では文化財の所有者が実施する保存修理等に対する補助金による支援や、市が所有している史跡の維持管理を行っています。

令和2年度は、次の事業に「ふるさと応援寄付金」を活用し、長年の使用で傷んだ施設や用具の整備及び史跡の維持管理を行いました。

### 【補助金による支援】

①重要文化財「山口家住宅」茅葺屋根修繕事業

②佐賀市重要無形民俗文化財「松枝神社奉納浮立」用具整備事業

### 【史跡の維持管理】

①重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」

②佐賀市史跡「大野代官所跡」



## 1 2. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために②



肥前国庁跡は奈良・平安時代の役所の跡で、発掘調査によりその全貌が判明している学術的にも極めて価値のある遺跡で、国史跡に指定されています。現在は肥前国庁跡歴史公園として整備され、南門等が復元されています。

寄付金は公園や併設する資料館の維持管理経費、夜間に南門をライトアップして実施する芸能祭などに使用しています。毎年10月に実施している芸能祭には多くの方々に参加いただき、秋の風物詩として定着しています。

## 1 2. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために③



国史跡 東名遺跡は、国内最古の湿地性貝塚（約8000年前）で、日本を代表する縄文時代の遺跡です。現在は、治水対策用の調整池の中にあり、特殊な環境で保存されています。

そのため、遺跡を恒久的に保存していくためには、保存環境を監視していく必要があります。令和2年度は、モニタリング調査を行い、遺跡の保存環境が安定していることを確認しました。その他、保存地区や展示施設（東名縄文館）の維持管理も行っています。

## 1 2. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために④



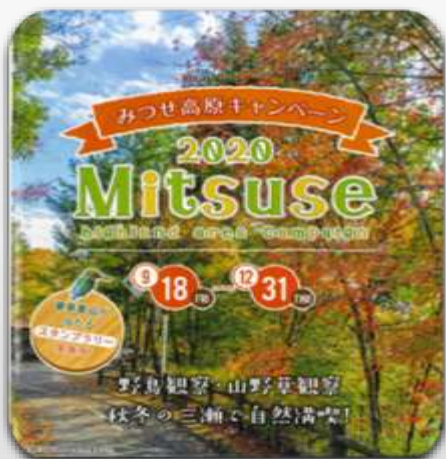
佐賀市には、地域の方々などで守り伝えられてきた固有の行事や伝統芸能、歴史や文化（地域資源）が溢れています。

「地域文化保存・継承支援事業」では、この地域資源を次世代に継承することを目的とした活動に支援を行っており、令和2年度は下記の3事業への補助を行いました。

- ①松森神社本殿の改修事業（大和町）
- ②戦中・終戦直後の暮らしの伝承及び語り部の育成事業（北川副町）
- ③蓮池町史跡案内板設置（蓮池町）

## 1 4. みつせ高原キャンペーン等で賑わいづくりを

活用額：984,000円



佐賀市の北の玄関口、三瀬村の観光資源を積極的にPRすることにより、観光客誘致及び地域活性化を図る目的で、『自然体験』をテーマに「みつせ高原キャンペーン」を実施しました。情報誌を作成し、三瀬高原周辺のレジャー、カフェ、レストラン、直売所、観光農園などを幅広く紹介しました。また、キャンペーン参加店に情報誌を設置して寄り道を促し、他店への誘導につなげるためにスタンプラリーを実施し、抽選で豪華賞品が当たるイベントを実施しました。

○実施期間 R1.9.18～R1.12.31 スタンプラリー参加者数 1,271人』

## 1 5. 佐賀空港北側の川副桜ロードのために

活用額：2,057,000円



九州佐賀国際空港の北側に約400本のソメイヨシノが咲く名所として「川副桜ロード」があります。そこは、佐賀市でも有数の桜の名称として長年、市民の方に親しまれています。

桜の満開時期には、道路の両側に植えられた桜がトンネルのようになり、毎年、多くの観光客や花見客で賑わっています。昨年度も皆様から寄せられた『ふるさと応援寄付金』のおかげで、桜の維持管理を行うことができました。今後も、この美しい桜ロードを多くの方々に親しんでいただけるよう努めて参ります。

## 17. まちの環境整備・基盤整備のために

活用額：21,558,000円



佐賀市では、きれいな水辺空間と快適な生活環境維持のため、毎年、春と秋に「川を愛する週間」という市民総出の河川浄化運動が行われており、9万人近い方々が水路の清掃活動に参加しております。

この運動において佐賀市は、河川清掃に必要な道具の貸出し及び排出されたごみの回収・処分を担っており、皆様方から頂いた「ふるさと応援寄付金」につきましては、河川清掃道具の購入・修理などに有意義に使わせていただいております。

## 17. まちの環境整備・基盤整備のために②



近年多発している局地的集中豪雨や台風の大雨などによる浸水被害を最小限に留めるには、樋門樋管や排水ポンプ等設備の点検や水路内の流水障害や調整池の貯留機能が損なわれることを防ぐための浚渫・除草・樹木伐採といった対策が必要となっており、皆様方から頂いた「ふるさと応援寄付金」につきましては、浸水被害対策に係る施設等の適切な維持管理に有意義に使わせていただいております。

## 18. 高齢者、障がい者福祉の充実のために

活用額：35,045,000円



この事業は、高齢者に高齢者バス優待乗車券の購入費の一部を助成することにより、外出の支援を行い、高齢者の社会参加の促進を図ることを目的としています。

●高齢者バス優待乗車券とは、バス降車時に提示すると、1回の乗車につき100円でご利用でき、発行から1年間有効な券で、次の券を購入される際に、購入費の一部を助成しています。

・市営バスでご利用いただける『ワンコイン・シルバーパス券』

販売価格16,800円の内、購入者負担金は1,000円で15,800円を助成

・昭和バスでご利用いただける『シルバーパス券』

販売価格21,000円の内、購入者負担金は2,000円で19,000円を助成

●対象者・佐賀市の住民基本台帳に記載されている、70歳以上の高齢者

## 令和元年8月豪雨

活用額：4,667,000円



佐賀市では災害に備え、様々な物資を備蓄しています。

いただいた寄付金を活用して、新型コロナウイルス感染症対策として避難所で必要となる非接触式体温計や手指消毒液などの物品の購入、また、避難所等で避難者に提供する食料、飲料水、エアーマットなどを購入させていただきました。

今後も、災害が発生した場合に市民の皆様の生活を維持するための備えを行ってまいります。

## 令和元年8月豪雨②



バリケード150セット、バリケード用ウエイト30個を購入しました。

大雨による冠水の通行規制について、広範囲での浸水時には職員だけでは対応が難しく、迅速な通行規制を行うため、あらかじめ各自治会へバリケードの配布を行いました。

皆様方から頂いた寄付金は、市民の生命・財産を守るために大変役立っています。

# 令和3年度活用 ふるさと応援寄附金活用見込

具体的な活用内容は「ふるさと納税便り  
vol.13」にてご報告させていただきます。

| メニュー項目                      | 活用見込額（円）    | 備考         |
|-----------------------------|-------------|------------|
| 0. 新型コロナウイルス感染症対策のために       | 142,078,000 |            |
| 1. 子どもの学びの環境を充実するために        | 179,905,000 |            |
| 2. 子どもたちへの支援・応援のために         | 158,275,000 |            |
| 3. 高齢者、障がい者福祉の充実のために        | 44,714,000  |            |
| 4. 市民活動の応援のために              | 6,759,000   |            |
| 5. 災害に強いまちづくりのために           | 51,532,000  |            |
| 6. 安全・安心に暮らせるまちづくりのために      | 16,481,000  |            |
| 7. 二酸化炭素を使って子どもから高齢者まで喜ぶ社会に | 1,719,000   |            |
| 8. 持続可能な低炭素・資源循環のまちづくりのために  | 15,902,000  |            |
| 9.暮らしに身近な生活環境の向上のために        | 12,108,000  |            |
| 10. スポーツを活かしたまちづくりのために      | 7,083,000   |            |
| 11. 賑わいを生み出す佐賀駅周辺にしていぐために   | 8,366,000   |            |
| 12. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために      | 18,444,000  |            |
| 13. 幕末産業遺産の保存・活用のために        | 21,820,000  |            |
| 14. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために   | 19,789,000  |            |
| 15. 大隈重信記念館事業を推進するために       | 19,728,000  |            |
| 16. “バルーンのまち佐賀” 推進のために      | 7,075,000   |            |
| 17. ラムサール条約湿地の保全と活用のために     | 15,199,000  |            |
| 18. 街なかの祭り等を通した賑わいづくりのために   | 1,315,000   |            |
| 19. 佐賀空港北側の川副桜ロードのために       | 2,904,000   |            |
| 20. 古湯映画祭等で賑わいづくりを          | 1,000,000   |            |
| 21. みつせ高原キャンペーン等で賑わいづくりを    | 879,000     |            |
| 22. サガン鳥栖の応援のために            | 21,851,000  |            |
| 23. 佐賀ブルーナースの応援のために         | 10,000,000  |            |
| 24. 市長おまかせ（指定なし）            |             | 事務経費他に振り分け |
| 合計                          | 784,926,000 |            |